



豊田佐吉ゆかりの
「赤レンガ壁保存モニュメント」を建設

～ 豊田合成㈱ ～



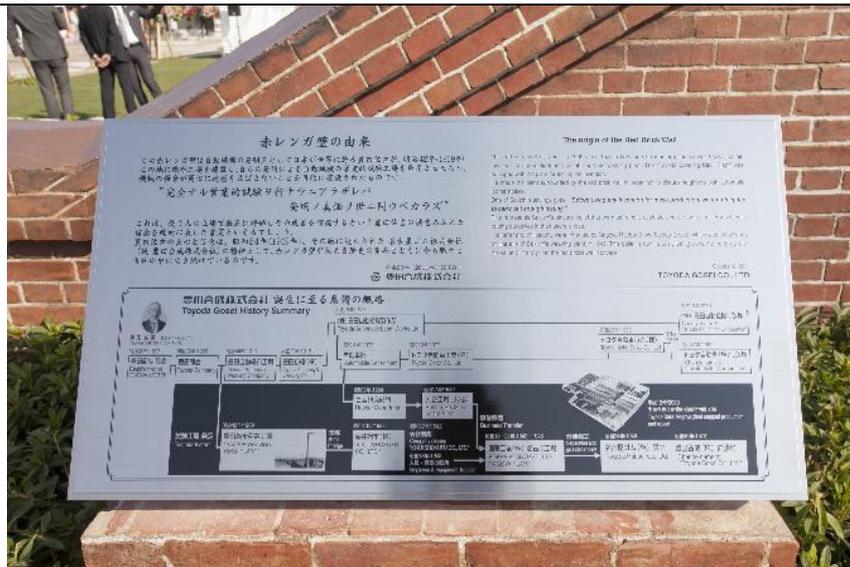
赤レンガ壁モニュメント①

豊田合成株式会社は、旧名古屋工場跡地（旧本社所在地）である名古屋市西区菊井町に、豊田佐吉ゆかりの「赤レンガ壁」を保存したモニュメントを新たに建設した。2011年10月8日より公開を開始している。

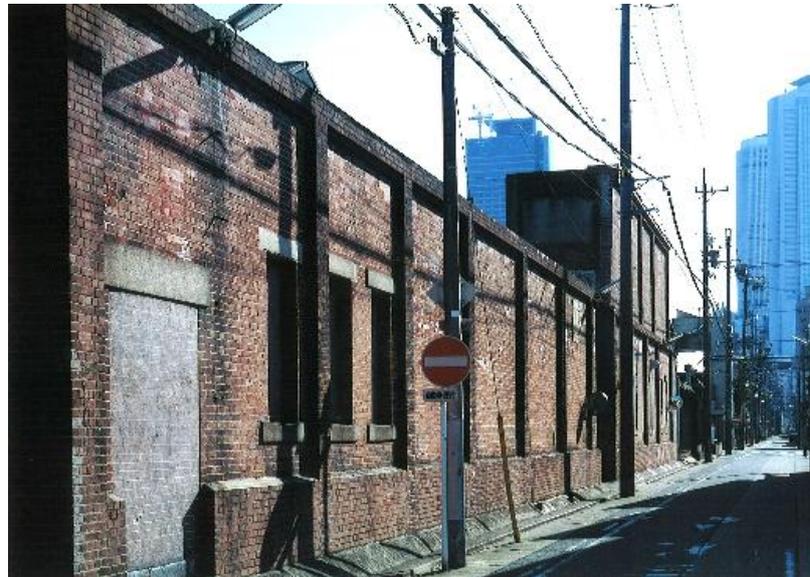
この赤レンガ壁は自動織機の発明王として日本が世界に誇る豊田佐吉が明治42年（1909年）に「豊田織布菊井工場」を建設し、自らの発明による自動織機の営業的試験工場を発足させた際、機械の騒音が周辺に迷惑を及ぼさないことを目的に、工場の外壁として使用されたものである。

その後、この赤レンガ壁は太平洋戦争の空爆を奇跡的にも免れ、100年近くの長きにわたり、工場が解体される2006年までこの地に存在していた。赤レンガ壁のレトロ感と近代的な名古屋駅周辺の高層ビル同居する珍しい風景は、今も多くの人の記憶に刻まれている。

現在、この場所は住宅展示場として生まれ変わり、その中央部に赤レンガ壁モニュメントとして展示され、ものづくりの精神を後世に残している。



赤レンガ壁モニュメント②



2005年頃の豊田合成 旧名古屋工場